

令和7年度支部事業計画および支部保険者 機能強化予算の策定に向けた意見交換について

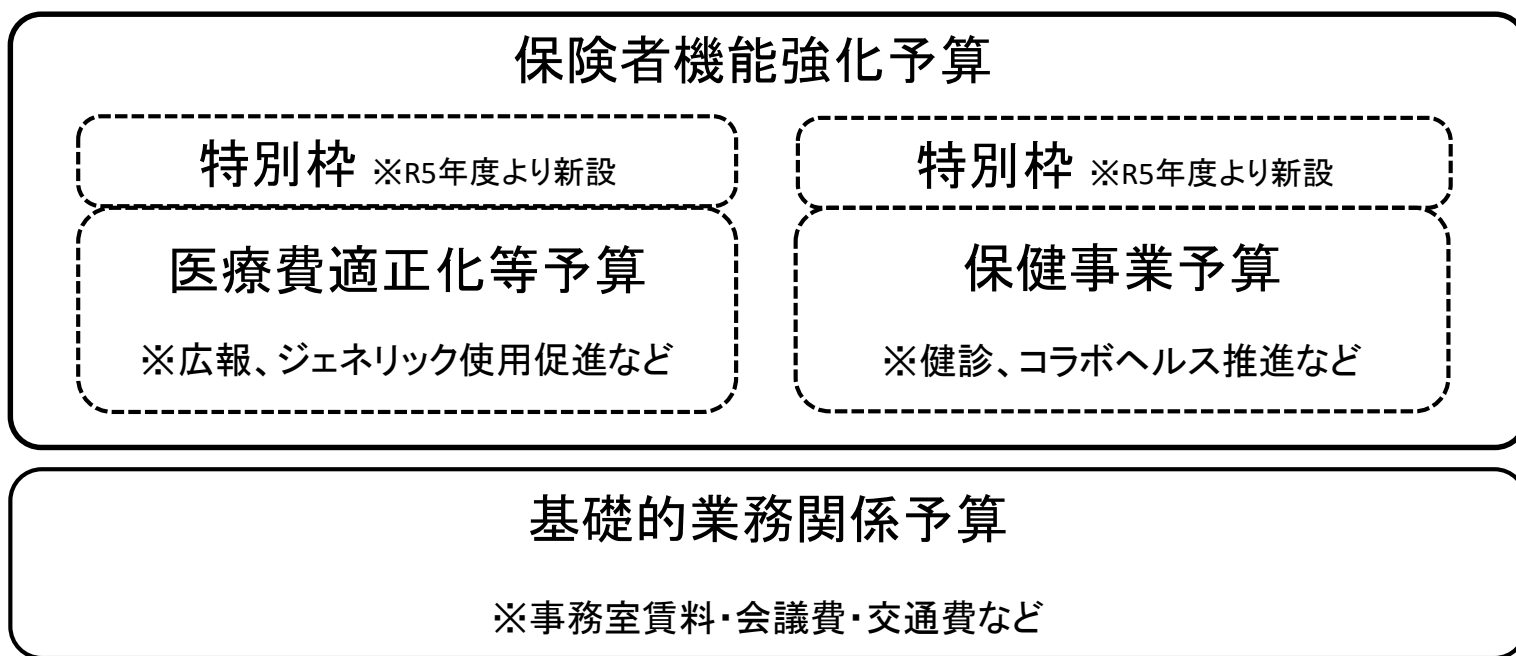
1. 支部の予算体系・策定スケジュール	… P 1 ~ P 2
2. 京都支部の現状評価・課題	… P 3 ~ P 4
3. 令和7年度事業の重点施策（案）	… P 5 ~ P 8
4. ご意見いただきたい主な内容	… P 9
（参考）データ資料集	… P 10 ~ P 28

令和6年10月22日
令和6年度 第2回評議会

1. 支部の予算体系・策定スケジュール

支部の予算体系

- 支部の予算は、大きく分けて「基礎的業務予算」と「保険者機能強化予算」に分けられます。
- 「基礎的業務関係予算」は、支部の運営に必要な基礎的な予算(事務室賃料・会議費・交通費など)になります。
- 「保険者機能強化予算」は、①医療費適正化等予算と②保健事業予算の2種類があり、医療費の適正化や保険者機能の推進等の取り組みを進めるための予算になります。
- 令和5年度から、支部の重点課題に対応した事業の一層の推進を図ることを目的として、支部保険者機能強化予算に「特別枠」が新設されました。



【令和7年度事業計画・予算策定等の大まかなスケジュール】

- 令和6年10月22日 評議会へ事業計画・支部保険者機能強化予算の意見聴取
- 令和6年12月末 支部事業計画・KPI・保険者機能強化予算案を本部に申請
- 令和7年1月中旬 評議会へ支部事業計画・KPI・保険者機能強化予算案を付議
- 令和7年3月 評議会へ支部事業計画・KPI・保険者機能強化予算の最終案報告

2. 京都支部の現状評価・課題

京都支部の現状評価・課題

現状評価・課題

1	◎京都府の課題 ・ 京都府は女性の健康寿命が短い、全国最下位 ・ 要介護認定率が全国平均より高い ・ 心疾患の年齢調整死亡率が高く、LDL コレステロールリスク該当率を引き下げる（データヘルス計画より）
2	◎京都支部の特徴・課題① ・ 男女ともに全国平均と比べるメタボ等の保有リスクは低いが、生活習慣では男女ともに食習慣、睡眠に改善が必要な者が多い。（協会けんぽ京都支部スコアリングレポートより）
3	◎京都支部の特徴・課題② ○特定保健指導実施率が低い ・ 令和5年度合計実績評価率：18.2%（直営：7.8%、外部委託（健診機関＋専門機関）：10.4%）、全国33位 ・ 健診機関契約件数：37機関（令和6年度、北部地域無し） ・ 専門機関契約件数：3機関（令和6年度） ・ 健診機関の人員含めた体制の不備による初回面談数の伸び悩みと事業所の受入率の低迷
4	◎京都支部の特徴・課題③ ○未治療者受診率が低い ・ 血圧、血糖、LDL の受診勧奨基準者の健診受診後10か月以内の医療機関受診率が全国45位（2022年度健診受診後：30.4%） ・ LDL 該当者の受診率が低い（2022年度支部独自集計：23.4%） 【参考】血圧該当者：30.8%、血糖該当者：34.2%
5	◎京都支部の特徴・課題④ ◎健康宣言事業所数の拡大 ・ 令和6年7月現在：1,215社。適用事業所数に占める宣言事業所の割合では、全国下位6番目 ・ データ分析により明らかとなった業態や働き方特有の健康課題に応じた健康経営の推進。 ・ 健康宣言事業所数の拡大により健診受診率、特定保健指導実施率、未治療者医療機関受診率を向上させ、健康づくりサイクル定着を図る

3. 令和7年度事業の重点施策（案）

重点施策 ① 特定保健指導

課題	◎特定保健指導実施率が低い ・令和5年度合計実績評価率：18.2%（直営：7.8%、外部委託（健診機関＋専門機関）：10.4%）、全国33位 ・健診機関契約件数：37機関（令和6年度、北部地域無し） ・専門機関契約件数：3機関（令和6年度） ・健診機関の人員含めた体制の不備による初回面談数の伸び悩みと事業所の受入率の低迷
これまでの取組と評価	◎これまでの取組 ・健診機関に対し毎年2月の健診機関説明会の他に、令和5年10月に特定保健指導担当者従事者研修を主催。また、健診受診者数の多い機関に対し戦略会議を開催。 ・専門機関と定例会議を実施し進捗管理を徹底。 ・直営では、獲得率向上を目指し電話体制の見直しやトークスクリプトの工夫、また利用案内実施率を意識。 ・特定保健指導受入れ率の低い健康宣言事業所に対し、令和5年度下期から訪問を開始。 ◎評価 ・大規模健診機関との戦略会議及び特定保健指導受入れ率の低い事業所訪問は効果があった。
今後の重点施策とその検証方法	◎重点事業 ・引き続き大規模健診機関と戦略会議を定期的に行い、また健康宣言事業所に限らず特定保健指導受入れ率の低い大規模事業所への訪問実施。健康宣言事業所や健保委員の申請を確認し効率的な事業所訪問や、健診機関と事業所との三位一体の特定保健指導の取組も模索。 ◎検証方法 ・戦略会議以降の実施健診機関の初回面談数の確認、訪問事業所の受入れ率の確認。

重点施策 ② 未治療者医療機関受診率

課題	◎未治療者受診率が低い ・ 血圧、血糖、LDLの受診勧奨基準者の健診受診後10か月以内の医療機関受診率が全国45位（2022年度健診受診後：30.4%） ・ LDL該当者の受診率が低い（2022年度支部独自集計：23.4%） 【参考】血圧該当者受診率：30.8%、血糖該当者受診率：34.2%
これまでの取組と評価	◎これまでの取り組みと結果 ・ 令和5年度はトータルヘルスケアサポート（健診当日の面談）で4健診機関で約5,000人を実施した。当日に結果が判明する血圧について受診勧奨を必須とした。約750人に血圧を含めた受診勧奨を実施。令和6年度は規模を拡大して12,000人に実施予定。 ・ 支部で対応した未治療者への2次勧奨及び翌年度の健診直前に再度通知する3次勧奨を実施。2次勧奨DMは約9,000件、3次勧奨DMは約1,500件発送した。2次勧奨の平均受診率は判明分では約2%。
今後の重点施策とその検証方法	◎重点事業 ・ トータルヘルスケアサポート（健診当日の面談）の継続的な実施。 ・ 支部で対応の2次勧奨及び3次勧奨の確実な履行。健診後3か月以内の受診者が全体の6割を占めることから、健診後早期に受診勧奨できる健診機関と事業所との連携強化を図る。 ・ 具体的には健診機関には受診勧奨方法をアンケート調査により把握し、早期受診に繋げるための連携を図る。事業所には事業所訪問により受診勧奨を促す等のアプローチを行う。

重点施策 ③ 健康宣言事業所の拡大

課題	◎健康宣言事業所数の拡大 ・令和6年7月現在：1,215社。適用事業所数に占める宣言事業所の割合では、全国下位6番目 ・データ分析により明らかとなった業態や働き方特有の健康課題に応じた健康経営の推進。 ・健康宣言事業所数の拡大により健診受診率、特定保健指導実施率、未治療者医療機関受診率を向上させ、健康づくりサイクル定着を図る
これまでの取組と評価	(これまでの取り組みと結果) ◎業態別や働き方に合わせた健康づくり推進 ・健診データを分析し業態別の健康課題を見える化した京都働き世代の健康データブック制作 ・働き方に応じた健康づくり推進を広く情報発信（プレスリリース、関係団体への共有等） ◎健康宣言実施勧奨（文書＋電話） ・データ分析で他の業態と比べて健康課題の多かった建設業、運輸業約2,000社を対象 ・京都働き世代の健康データブックを同封し、令和6年10月～12月で実施 ◎健康経営の広報ランディングページ（LP）の制作 ・令和3年度から制作している支部広報LPを、令和6年度は健康経営をメインテーマにしたデザインにリニューアル、京（きょう）から取り組む健康事業所宣言のロゴマークを新たに作成 ・WEB広告、新聞広告、交通広告、プレスリリース等による周知広報。 ◎健康講座、健康測定器貸出 ・健康意識向上のために、健康講座（120件）、健康測定器貸出（250件）を実施
今後の重点施策とその検証方法	(重点施策) ◎データ分析結果の活用 ・業態別の健康課題を活用し、健康課題の多い業態事業所や業界団体等への情報発信 ・健康宣言による健康リスク改善効果の効果的な情報発信 ◎健康宣言実施勧奨 ・R6年度事業の効果（獲得健康宣言実施事業所数）を検証 ・R6年度事業の実績を活用して、R7は全業態に対象を拡大して実施 ◎健康経営の広報ランディングページの周知広報 ・健康経営の健康改善効果を広く周知する。 ・令和6年度の各種広報の効果検証を行い、令和7年度以降の広報手法を検討する。 (検証方法) ・各事業実施後の健康宣言事業所数の伸びを把握 ・WEB広告等の効果検証、プレスリリースによるメディア等掲載数を把握

【重点事業の施策に対してのご意見】

- ① 特定保健指導
 - ・ 大規模事業所の保健指導受け入れ拡大について
 - ・ 実施率に低い業態に対するアプローチ方法について
- ② 未治療者受診勧奨
 - ・ 効果的な再検査受診勧奨（健診機関、事業所）を推進する方法
 - ・ LDLリスク保有者に重症化する等の認識を持ってもらう方法
- ③ コラボヘルス（健康宣言）
 - ・ 健康宣言事業所の効果的な拡大方法
 - ・ ランディングページ（LP）の効果的な周知方法、ツール等

それぞれの立場（学識経験者・事業主代表・被保険者代表）・視点からのご意見をいただければ幸いです。

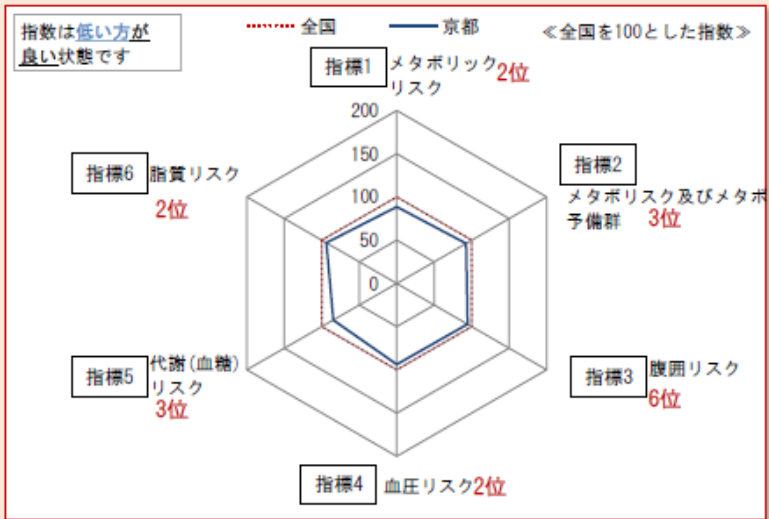
(参考) 重点施策のデータ資料集

【支部別】生活習慣病リスク保有率(支部別スコアリングレポート)

- 男女とも生活習慣病保有リスクは低く、全国トップクラス。

Ⅱ 生活習慣病リスク保有者の割合(男性)

【生活習慣病リスク保有者割合(2023年度)】



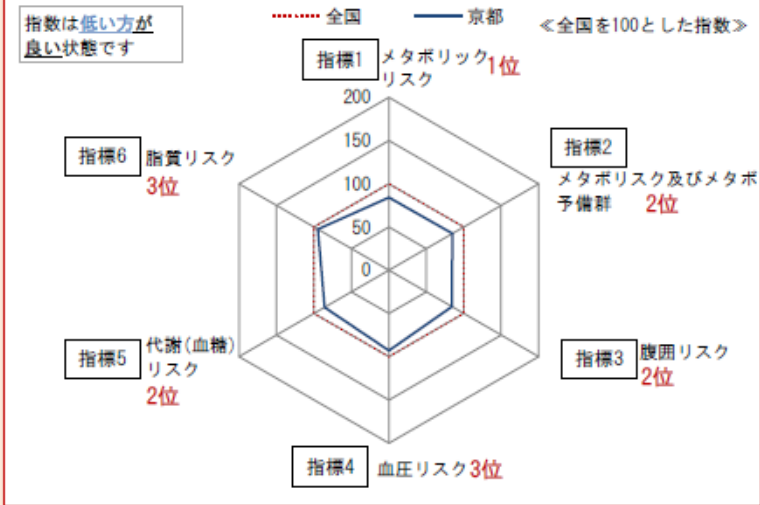
※ 順位は1位が最もリスクが低い(良い)状態です

指標1	メタボリックリスク	A
指標2	メタボリスク及びメタボ予備群	A
指標3	腹囲リスク	A
指標4	血圧リスク	A
指標5	代謝(血糖)リスク	A
指標6	脂質リスク	A

A: 順位1位～10位、B: 順位11位～37位、C: 順位38位～47位

Ⅱ 生活習慣病リスク保有者の割合(女性)

【生活習慣病リスク保有者割合(2023年度)】



※ 順位は1位が最もリスクが低い(良い)状態です

指標1	メタボリックリスク	A
指標2	メタボリスク及びメタボ予備群	A
指標3	腹囲リスク	A
指標4	血圧リスク	A
指標5	代謝(血糖)リスク	A
指標6	脂質リスク	A

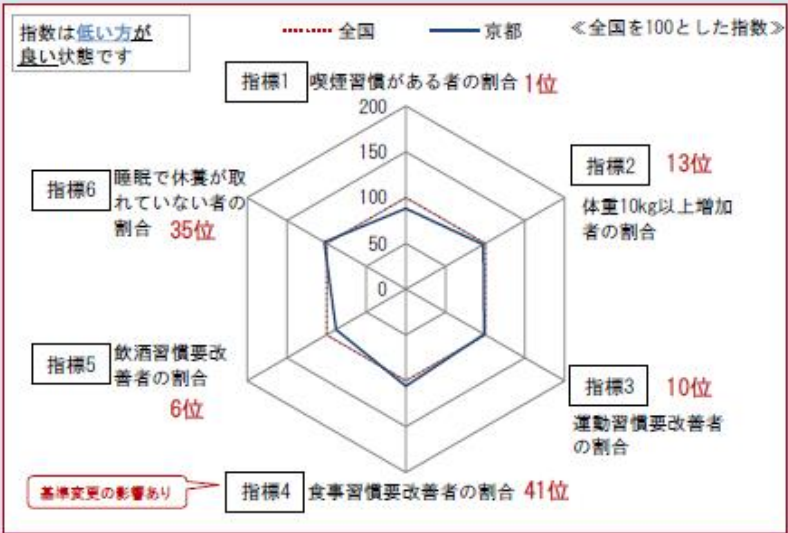
A: 順位1位～10位、B: 順位11位～37位、C: 順位38位～47位

【支部別】生活習慣要改善者の割合(支部別スコアリングレポート)

- 男女ともに、食習慣と睡眠で要改善者の割合が高い。

Ⅲ 生活習慣要改善者の割合(男性)

【生活習慣病リスク保有者割合(2023年度)】



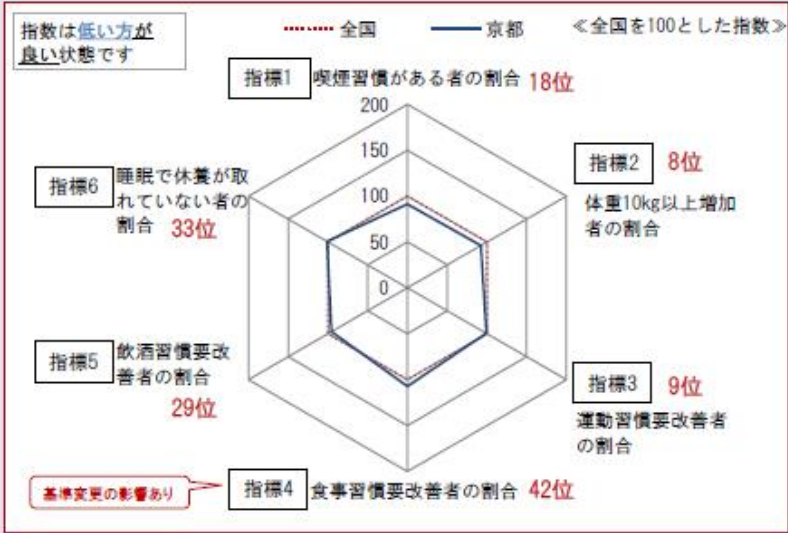
※ 順位は1位が最もリスクが低い(良い)状態です

指標1	喫煙習慣がある者の割合	A	指標2	体重10kg以上増加者の割合	B
指標3	運動習慣要改善者の割合	A	指標4	食事習慣要改善者の割合	C
指標5	飲酒習慣要改善者の割合	A	指標6	睡眠で休養が取れていない者の割合	B

A: 順位1位～10位、B: 順位11位～37位、C: 順位38位～47位

Ⅲ 生活習慣要改善者の割合(女性)

【生活習慣病リスク保有者割合(2023年度)】



※ 順位は1位が最もリスクが低い(良い)状態です

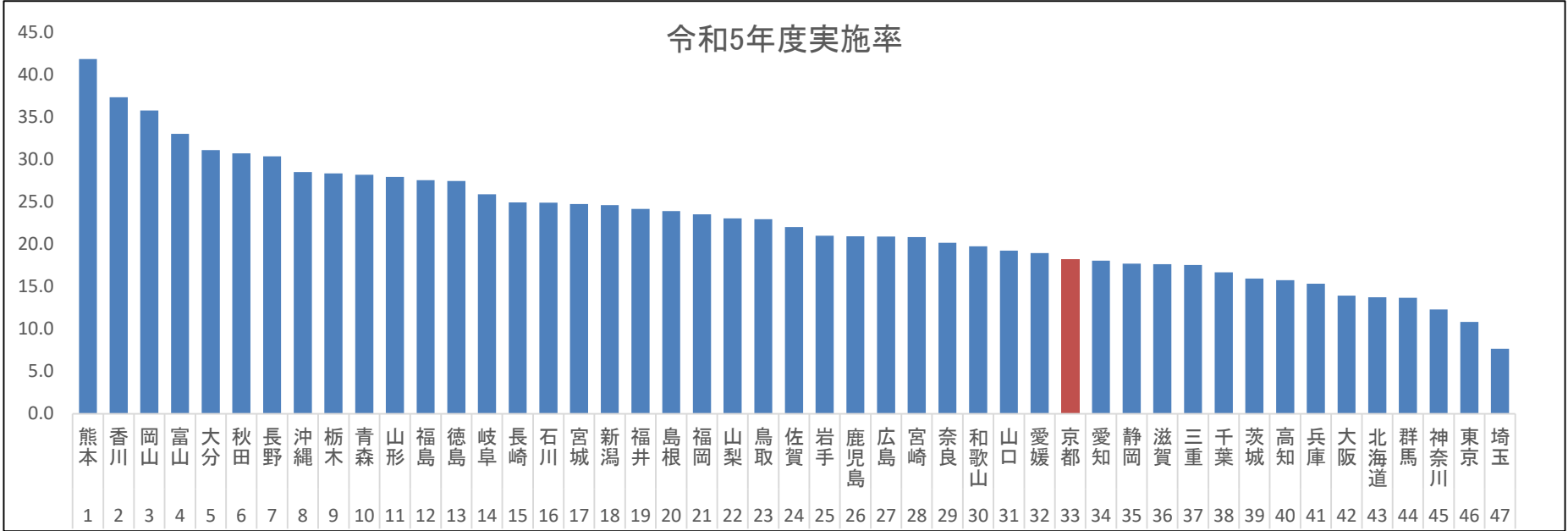
指標1	喫煙習慣がある者の割合	B	指標2	体重10kg以上増加者の割合	A
指標3	運動習慣要改善者の割合	A	指標4	食事習慣要改善者の割合	C
指標5	飲酒習慣要改善者の割合	B	指標6	睡眠で休養が取れていない者の割合	B

A: 順位1位～10位、B: 順位11位～37位、C: 順位38位～47位

①特定保健指導実施率

令和5年度実績評価率(KPI)は全国33位、令和5年度下期以降実績数値は改善傾向。

【支部別特定保健指導実施率】



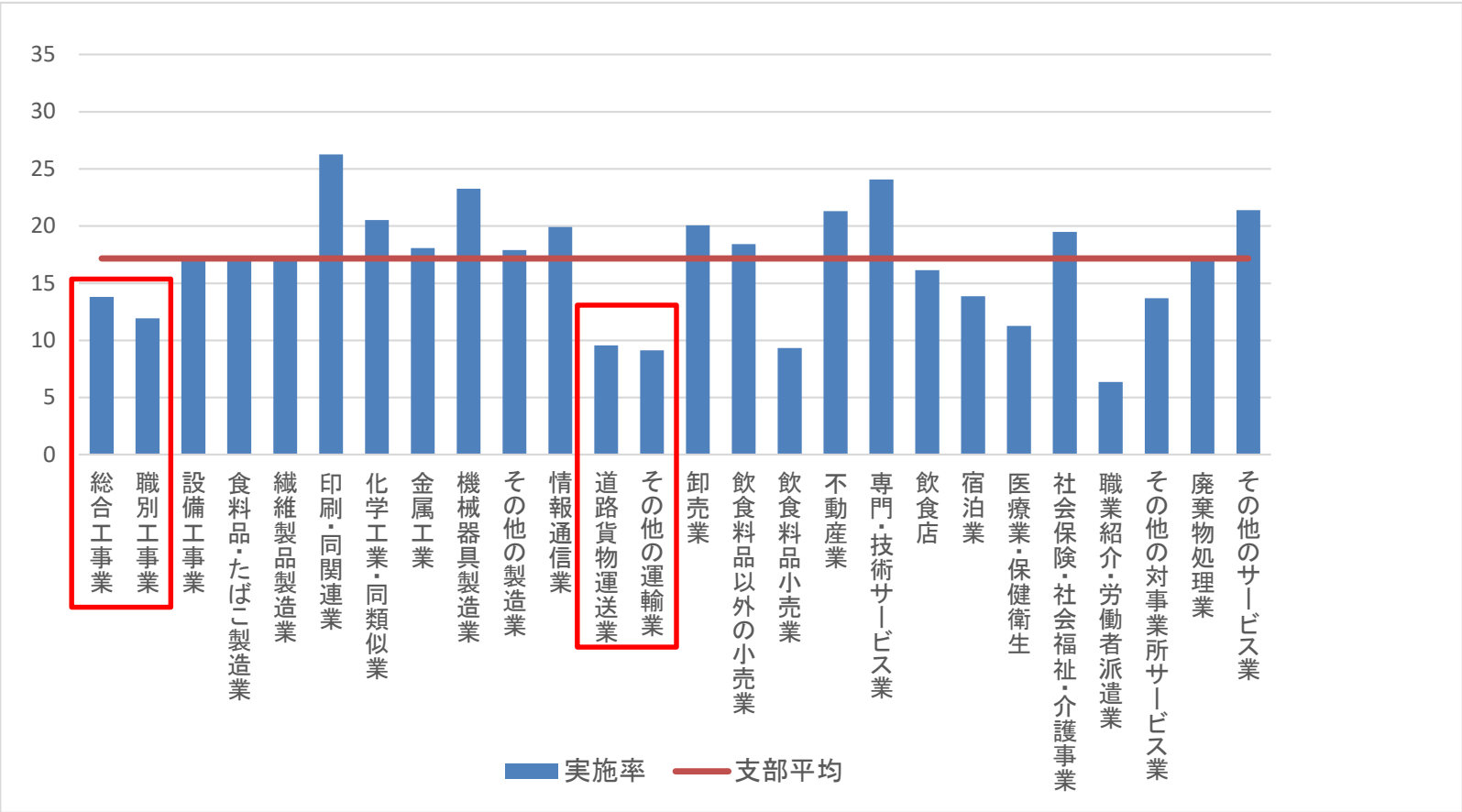
< 京都支部特定保健指導実績推移 >

年度	特定保健指導該当者数	初回面談実施者数	初回面談実施率	実績評価実施者数	KPI 実績評価実施率
2021	48,003	10,365	21.6%	8,186	17.1%
2022	48,778	10,315	21.1%	8,088	16.6%
2023	47,978	12,419	25.9%	8,698	18.2%

①特定保健指導実施率

特定保健指導対象者500名以上の業態のみ抜粋データ

【令和4年度業態別特定保健指導実施率】



①特定保健指導実施率

勤務形態や働き方に合わせて、様々な実施方法を準備しています。

【特定保健指導の様々な実施方法】

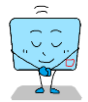
A

〆オススメ〆

健診機関で面談

健診の受診先やお近くの健診機関で面談

- 健診機関で **健診当日** に面談
健診当日は、**健康への意識が高まる！** 一番のチャンスです！
特に、勤務形態等で後日の面談が難しい方は健診当日の特定保健指導を積極的にご利用いただくよう、ご担当者様からのお声がけをお願いします。
- 健診機関で **後日** 面談
今年度既に受診済みの場合や、健診当日が難しい場合は後日の実施も可能です。

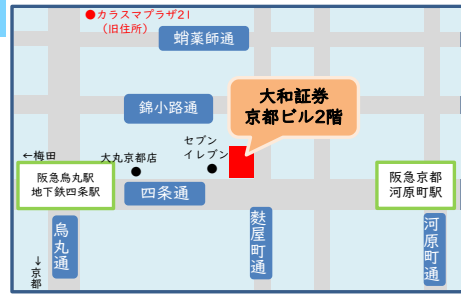


C

協会けんぽで面談

対象者様に協会けんぽ窓口へお越しいただき面談

- 面談場所等の準備のため、事前のご予約が必要です。
- 実施時間：平日9：00～17：00
- 京都支部アクセス
・阪急「京都河原町駅」徒歩4分
・阪急「烏丸駅」徒歩7分、
京都市営地下鉄「四条駅」徒歩9分



B

事業所で面談

事業所（職場）に保健師・管理栄養士がご訪問

- 支店ごとや複数日程での訪問も可能です。
 - 1名様でもお気軽にご相談ください！
- ※京都府外や土曜日等のご要望については、委託先専門機関（株式会社 ベネフィット・ワン）が実施する場合があります。



D

オンラインで面談

スマートフォン・パソコン・タブレットを使用

- カメラ付きの端末をご準備ください。
 - ※平日夜間や土曜日等のご要望については、委託先専門機関（株式会社 オクタウェル）が実施します。
- お仕事おわりや
休日（土曜）にも！
- 個人申し込みが可能なので
回答の取りまとめが不要！



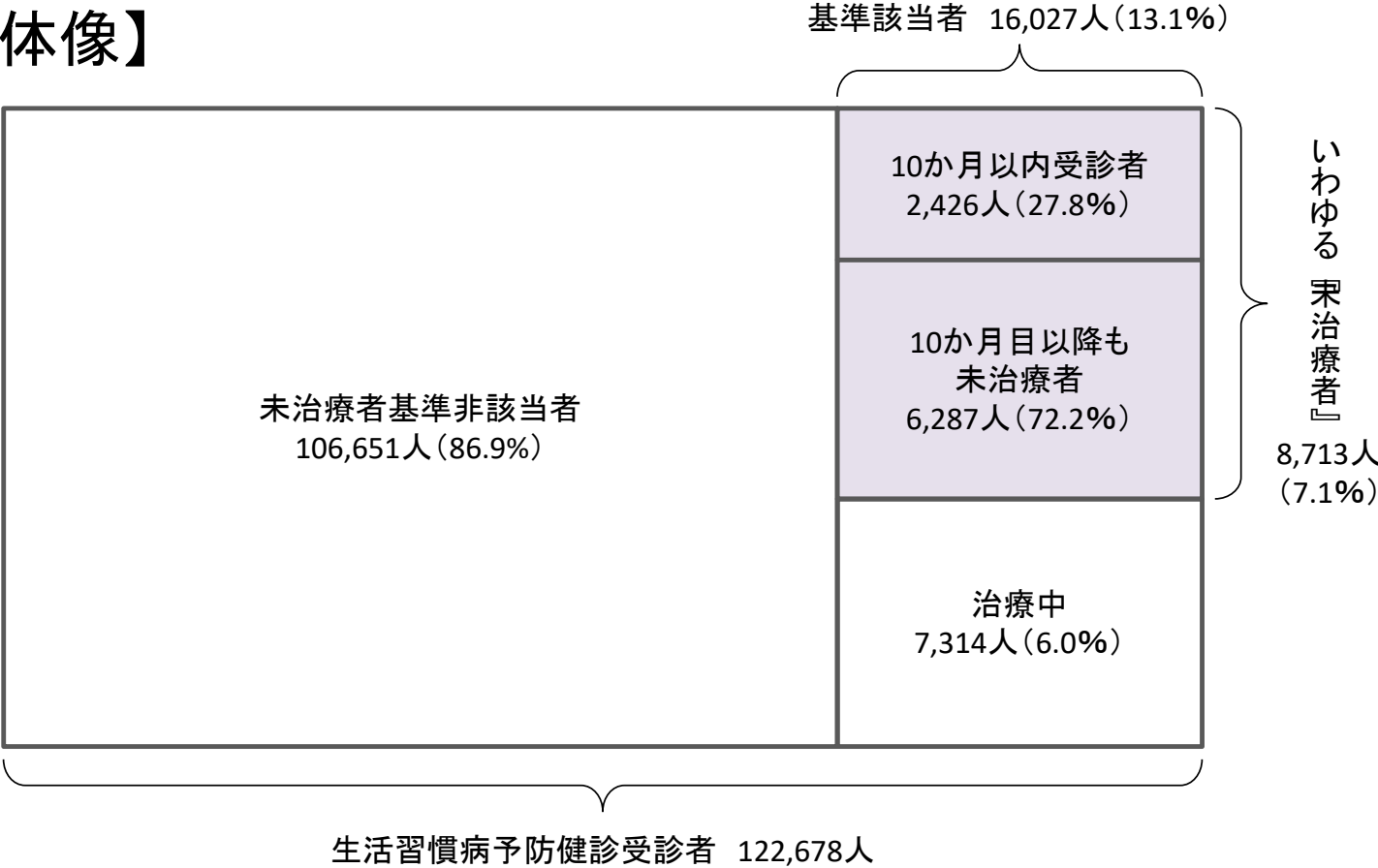
②未治療者医療機関受診率

- 2022年6月～10月の生活習慣病予防健診受診者を対象に集計
- いわゆる『未治療者』は健診受診者全体の約7.1%

項目	『未治療者』の選定基準
血圧	収縮期:160以上 or 拡張期100以上
血糖	空腹時血糖:126以上 or HbA1c(NGSP値):6.5以上
LDL	LDL:180以上

上記の条件かつ、健診受診月(n)～n-3の間に高血圧、糖尿病、脂質異常症関連のレセプトが無い者を対象とする。

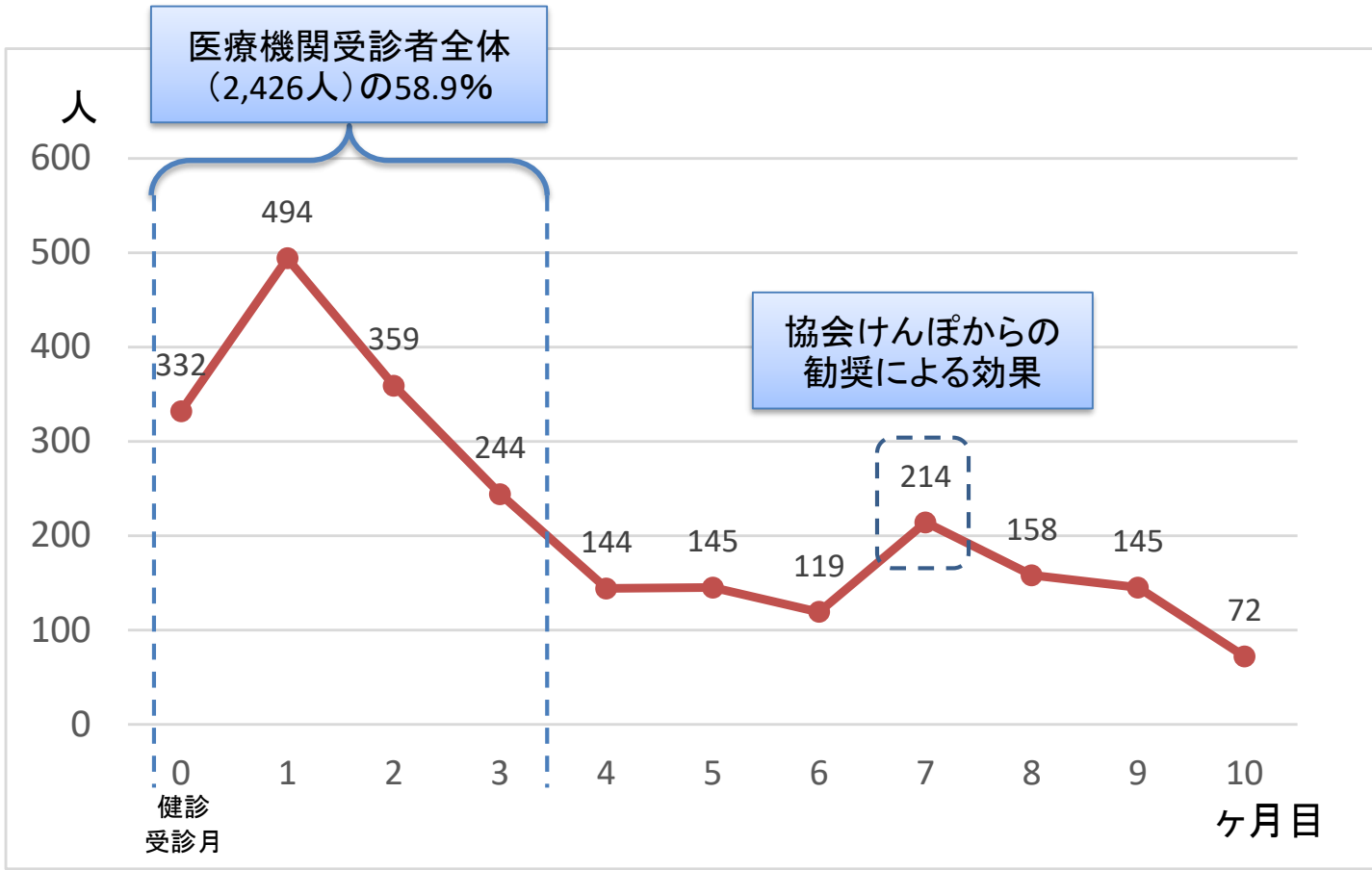
【全体像】



②未治療者医療機関受診率

- 2022年6月～10月の生活習慣病予防健診受診者を対象に集計
- 健診受診月～3か月目の受診者(1,429人)が全体(2,426人)の約58.9%
→健診機関、事業所からの受診勧奨方法の影響を受ける
- 健診後7ヶ月目は、協会けんぽからの受診勧奨通知により微増

【健診受診後医療機関受診者数の推移】



※2022年6～10月生活習慣病予防健診データ

②未治療者医療機関受診率

- 健診受診者のうち、血圧・血糖・LDLの基準該当率は、約13.1%
- 基準該当者のうち、未治療者は、約54.4%
- 健診受診後3か月以内の受診率は、約16.4%
- 健診受診後10か月以内の受診率は、約27.8%

【未治療者該当率】

	血圧・血糖・LDLのいずれか該当	血圧・血糖・LDLのいずれか該当		
		血圧	血糖	LDL
健診受診者	122,678			
基準該当者	16,027	5,628	6,922	4,710
該当率	13.1%	4.6%	5.6%	3.8%

【未治療者受診率】

	血圧・血糖・LDLのいずれか該当	血圧・血糖・LDLのいずれか該当		
		血圧	血糖	LDL
該当者	16,027			
治療中	7,314	1,862	5,191	767
未治療者	8,713	3,766	1,731	3,943
未治療率	54.4%	66.9%	25.0%	83.7%
3か月以内受診者	1,429	700	341	534
3か月以内受診率	16.4%	18.6%	19.7%	13.5%
10か月以内受診者	2,426	1,161	592	922
10か月以内受診率	27.8%	30.8%	34.2%	23.4%

②未治療者医療機関受診率

- 2022年6月～2023年3月の生活習慣病予防健診受診者を対象に集計
- 健診受診後3か月以内に受診勧奨ができるのは、健診機関、事業所のみ
- 健診機関、事業所による受診勧奨強化の協力が必須
- 大規模健診機関、事業所への協力依頼を優先

【健診受診後3か月以内の医療機関受診率】※2022年6月～2023年3月生活習慣病予防健診データ

●健診機関別

健診機関名	未治療者数	3か月以内受診者数	受診率
合計	16,281	2,832	17.4%
非表示			18.8%
			13.8%
			16.6%
			18.4%
			15.6%
			14.7%
			18.9%
			14.0%
			17.2%
			12.4%
			15.5%
			17.2%
			17.5%
			25.5%
			24.3%
			13.6%
			21.0%
			16.9%
			9.6%
			15.6%

●事業所別

事業所名	未治療者数	3か月以内受診者数	受診率
合計	16,281	2,832	17.4%
非表示			13.8%
			12.1%
			7.0%
			27.5%
			24.1%
			22.1%
			8.3%
			43.8%
			14.3%
			9.3%
			11.3%
			13.2%
			18.0%
			24.0%
			16.3%
			24.5%
			14.9%
			15.2%
			13.3%
			8.9%

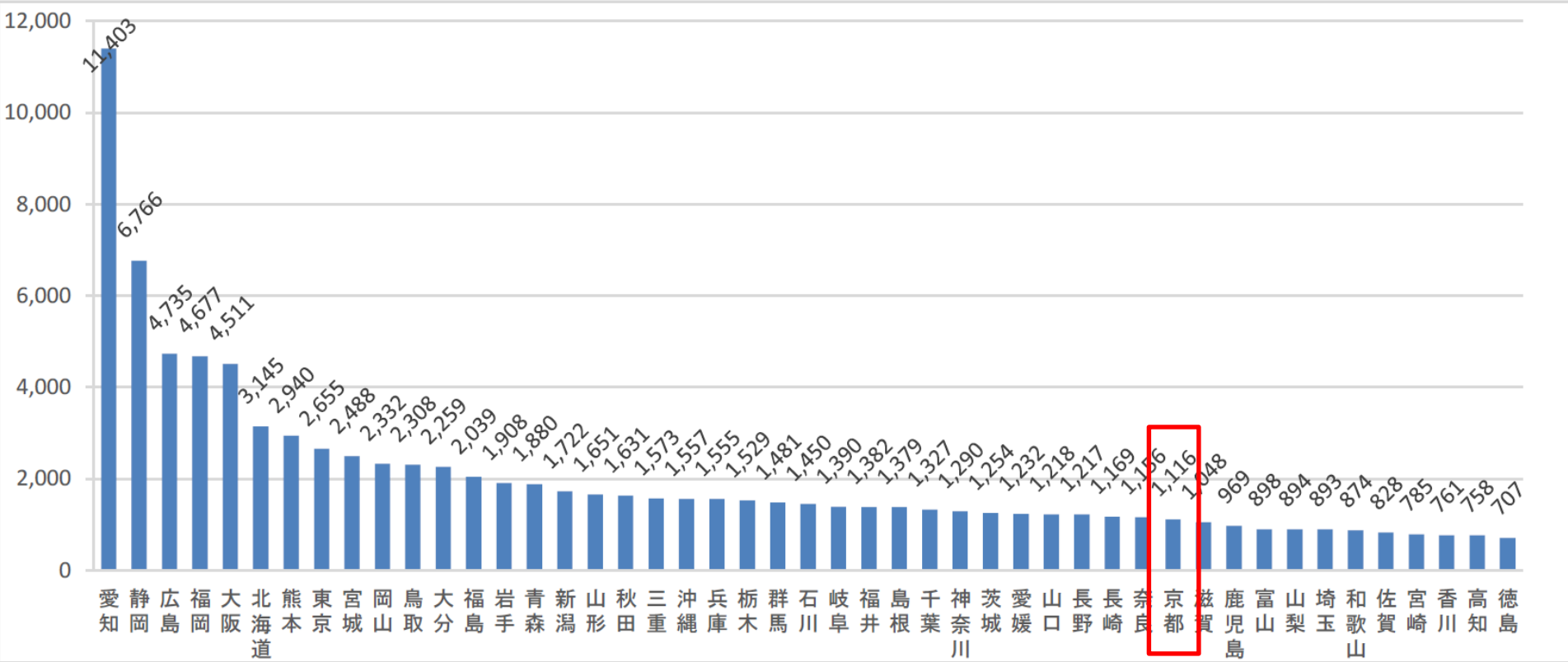
※健診受診者上位20の健診機関データ(順不同)

※健診受診者上位20の事業所データ(順不同)

③コラボヘルス

- 2024年3月末、健康宣言事業所数は1,116社。

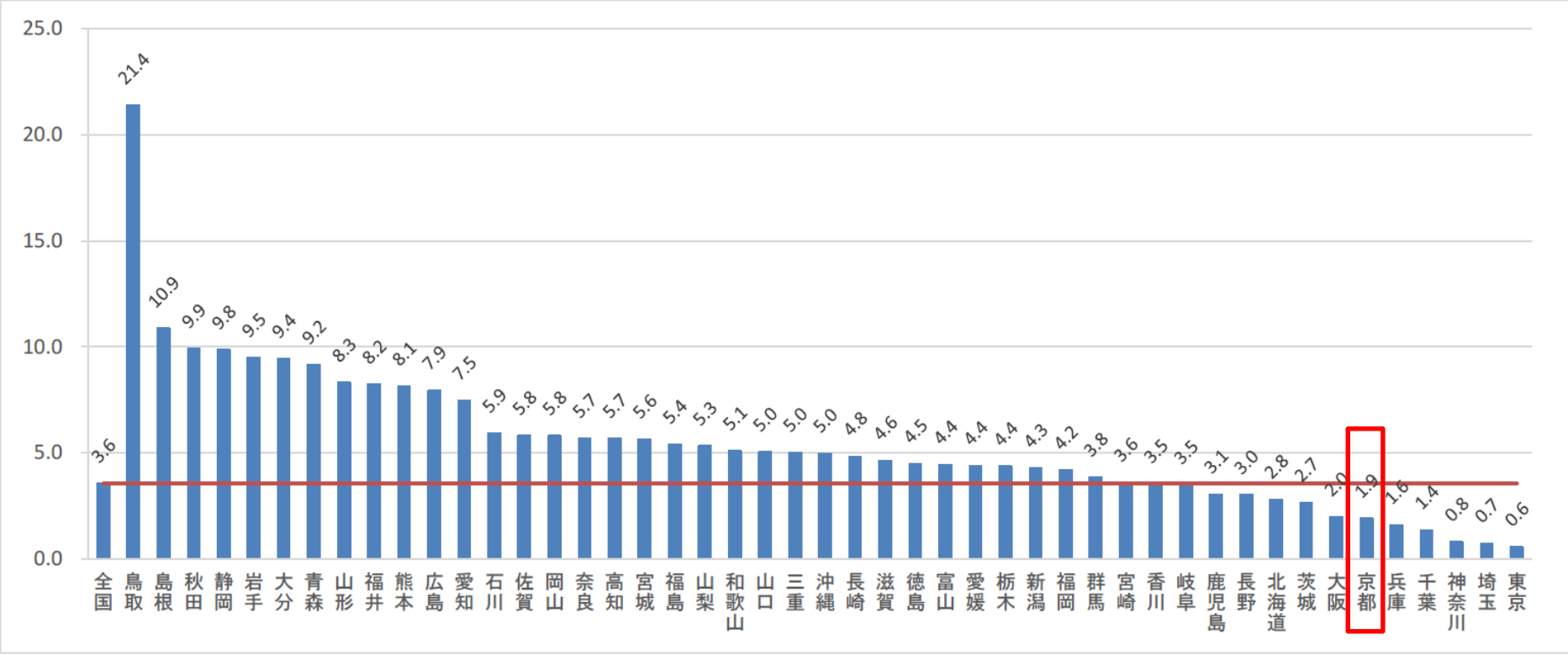
【支部別健康宣言事業所数(R5年度末)】



③コラボヘルス

- 適用事業所に占める健康宣言事業所の割合は1.9%
- 全国では下位から6番目

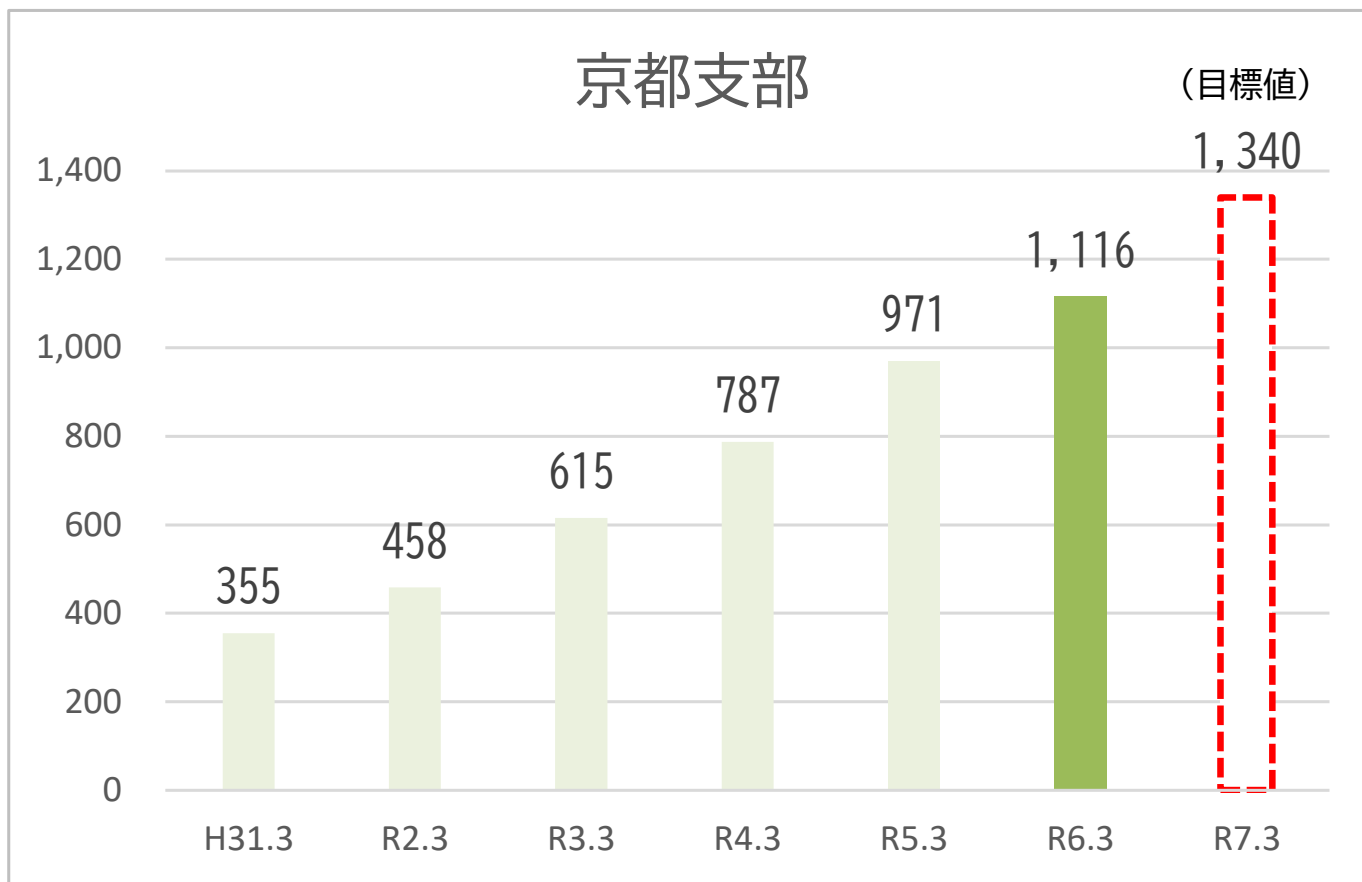
【支部別適用事業所に占める健康宣言事業所の割合(R5年度末)】



③コラボヘルス

- R6年度末目標値:1,340社の場合、適用事業所に占める健康宣言事業所の割合は2.3%となる。

【京都支部の健康宣言事業所数の推移】



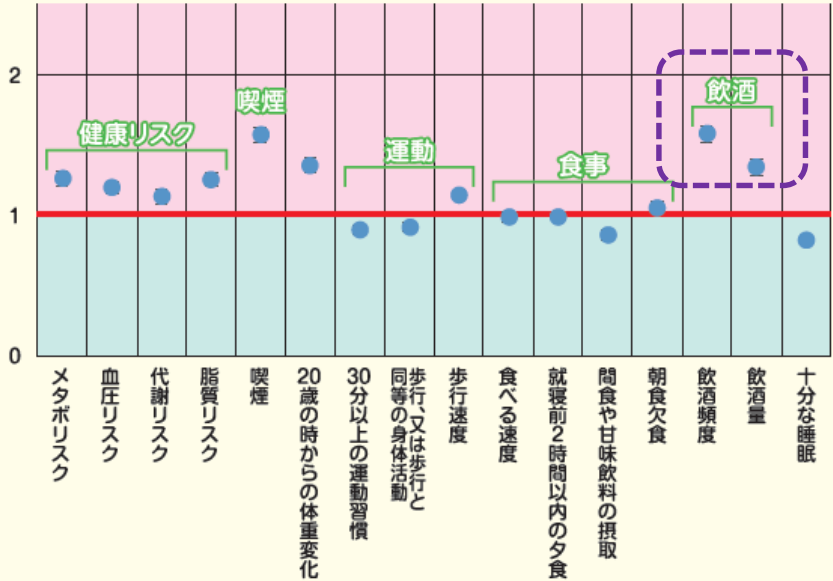
③コラボヘルス

- 建設業、運輸業の男性の健康課題が他の業態と比べて高い
- 同じメタボリスクが高い業態でも、要因になる生活習慣は働き方によって異なる。

【業態別健診・問診データ分析】 第97回日本産業衛生学会にて発表(R6.5)

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

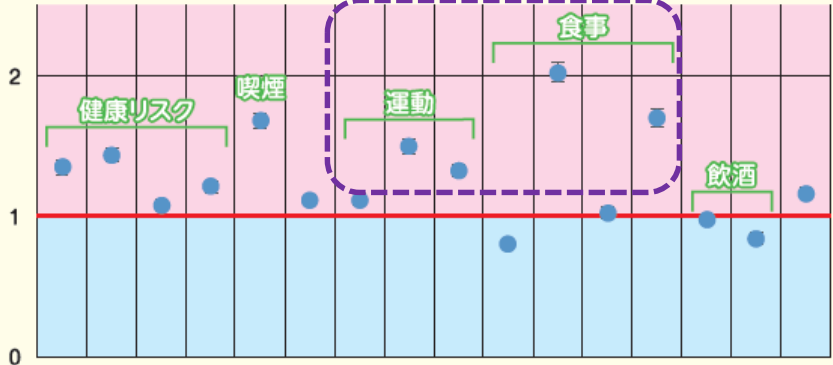
建設業



リスクが高い、又は生活習慣が悪い

リスクが低い、又は生活習慣が良い

運輸業・郵便業



リスクが高い、又は生活習慣が悪い

リスクが低い、又は生活習慣が良い

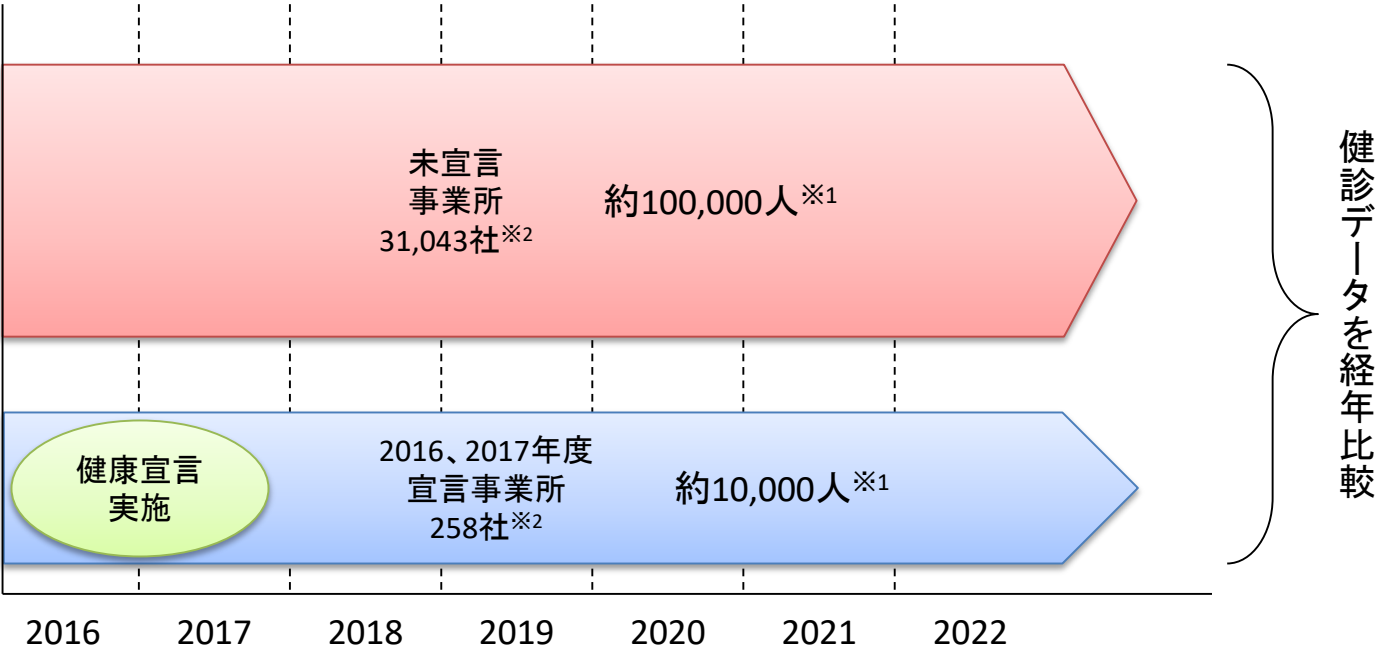
③コラボヘルス

- 2016、2017年度の健康宣言事業所と、2023年度末時点で未宣言事業所の健診データを比較

【健康宣言による健康リスク等の改善効果分析】

第83回日本公衆衛生学会にて発表予定 (R6.10.31)

【分析イメージ】

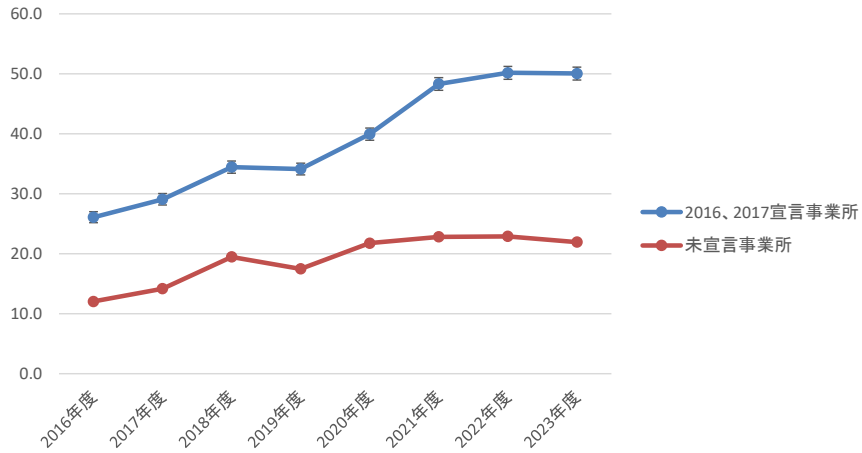


※1 各年度によって人数が異なる
※2 40歳以上の生活習慣病予防健診受診者が存在する事業所数
※3 2016年度の京都支部被保険者の年齢構成を基準に年齢調整している

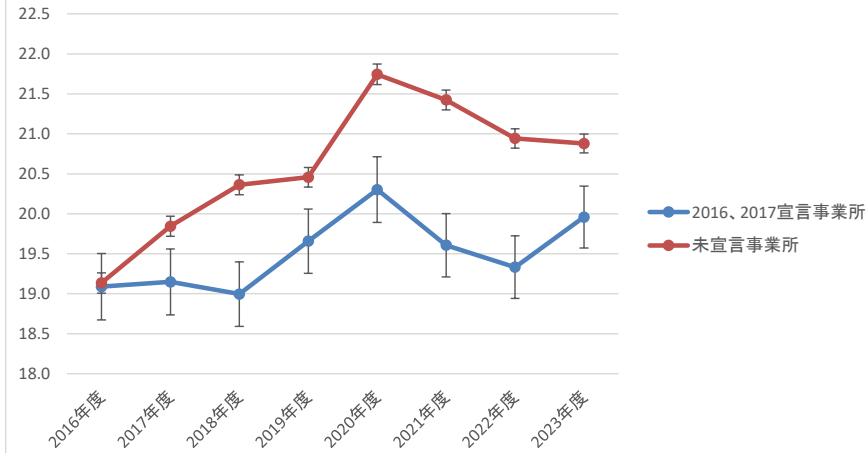
③コラボヘルス

- 特定保健指導(初回)実施率は健康宣言事業所で上昇する傾向がみられる。
- メタボ該当割合は健康宣言事業所の上昇率が未宣言事業所よりも緩やか。
- 血圧リスクは、健康宣言事業所と未宣言事業所で差がみられない。

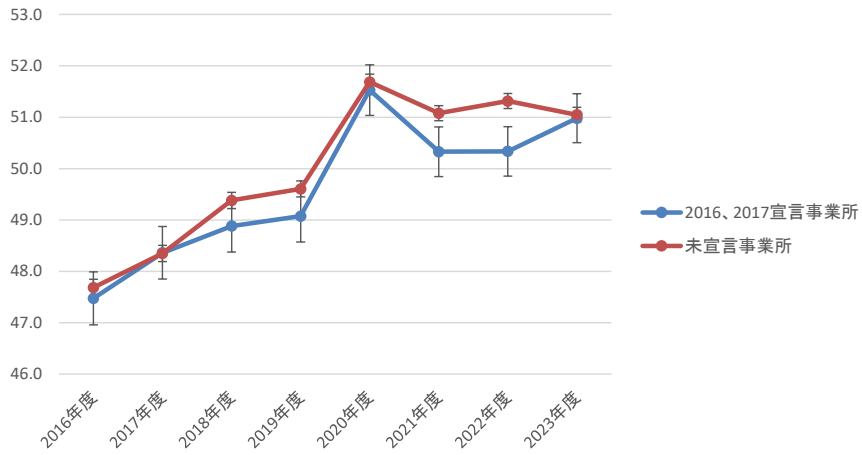
特保実施(初回)割合の推移(男性)



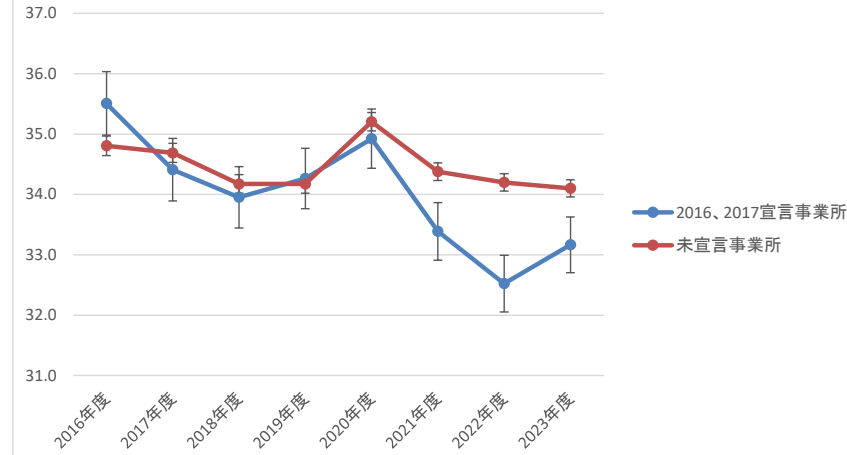
メタボ該当割合の推移(男性)



血圧リスク該当割合の推移(男性)

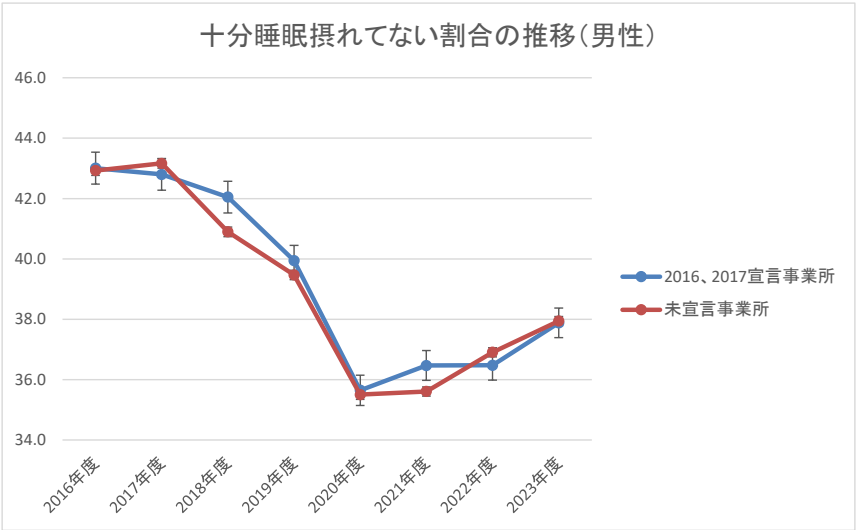
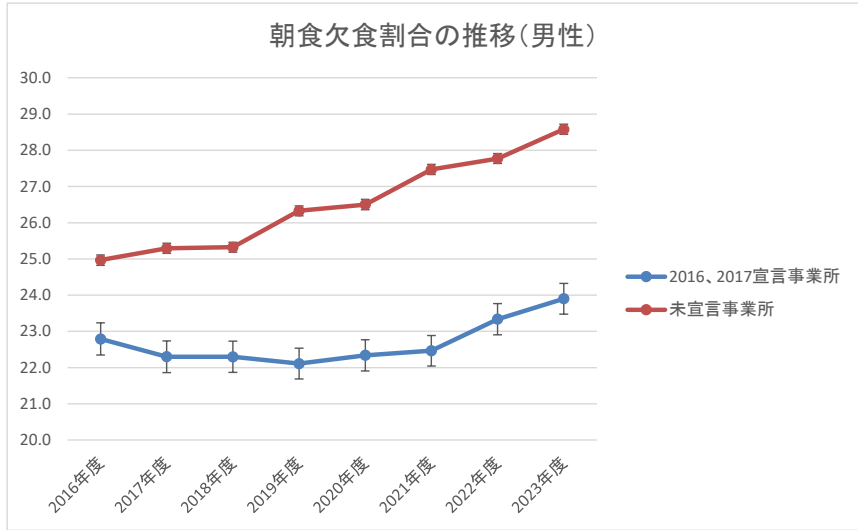
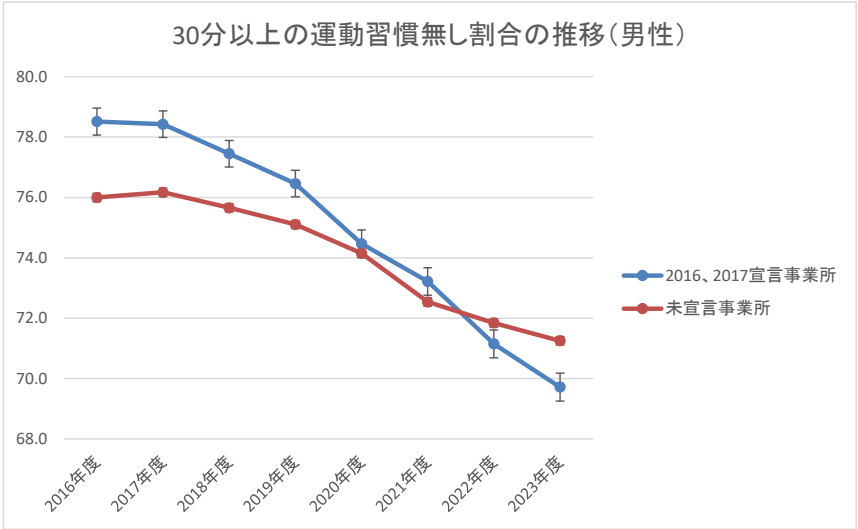
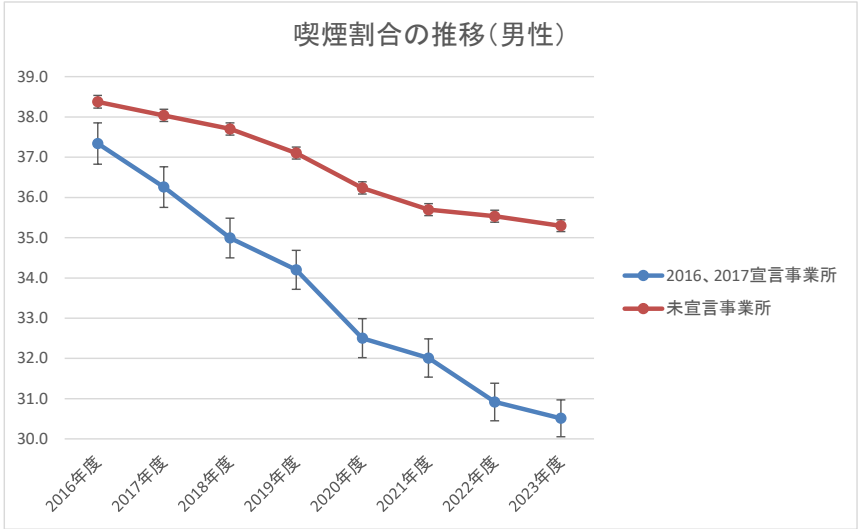


脂質リスク該当割合の推移(男性)



③コラボヘルス

- 喫煙割合、運動習慣、食生活では、健康宣言事業所が未宣言事業所よりも改善する傾向がみられる。
- 睡眠は、健康宣言事業所と未宣言事業所で差がみられない。



③コラボヘルス

- 令和6年11月よりWEB広告、交通広告、新聞広告等を実施予定

【京都支部ランディングページ(LP) R6.10リリース】



③コラボヘルス

- 健康宣言事業拡大に向けた推進ツールとして活用
- 健康宣言すると、ランディングページ(LP)からダウンロード可能

【京(きょう)から取り組む健康事業所宣言ロゴマーク】



きょう
京から取り組む 健康事業所宣言

【名刺印刷イメージ】

株式会社〇〇〇〇

総務部総務課
課長

協会 太郎
Kyoukai Taro



〒000-0000
〇〇県〇〇〇市〇〇〇〇〇123-456
〇〇〇〇ビル〇階
TEL : 000-000-0000 FAX : 000-000-0000
E-mail : xxxxxxxxxxx@xxxxxxxxx